資料２

文部科学省ＩＢ教育推進コンソーシアム事務局
5か年計画案（2018年～2022年）

【作成：2018年12月7日】

コンソーシアム5か年計画

IB１３４校（現在）　IB１５５校　IB１７７校　IB２００校

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月	4-10月	11-3月
①文部科学省IB教育推進コンソーシアム関係者協議会の運営	9/5 第1回関係者協議会	12/7 第2回関係者協議会 2月 第3回関係者協議会	5月 第4回関係者協議会 9月 第5回関係者協議会	12月 第6回関係者協議会 2月 第7回関係者協議会	5月 第8回関係者協議会 9月 第9回関係者協議会	12月 第10回関係者協議会 2月 第11回関係者協議会	5月 第12回関係者協議会 9月 第13回関係者協議会	12月 第14回関係者協議会 2月 第15回関係者協議会	5月 第16回関係者協議会 9月 第17回関係者協議会	12月 第18回関係者協議会 2月 第19回関係者協議会
	ＩＢ導入の状況及び関連する諸課題を把握するとともに、その現状・将来に係る解決策についての検討（②～⑤の施策に適宜反映） 諸課題に関する検討分科会（ワーキング・グループ）の設置・運営									
②国際バカロレア教育の効果に関する調査研究業務		IBに関する普及促進に係る調査研究：IB教育の効果と普及への課題を、様々なステークホルダーへのアンケート等の実施								
			IBの普及促進に係る学術研究の奨励（年に１回の研究セミナーの実施） 日本の教育とIB教育の効果比較研究、IB修了生追跡調査　等							
			10月　研究セミナー		10月　研究セミナー		10月　研究セミナー		10月　研究セミナー	
③国際バカロレア導入を検討する学校等への支援業務	IB導入校・関心校・自治体へのヒアリング（IB導入に係る好事例の収集・情報をHP上で発信）									
		IB理解促進の啓発活動各地方都市でのIBセミナー（沖縄・九州／中国／四国／近畿／中部／北陸／関東／東北・北海道）半期4都市実施								
			4都市	4都市	4都市	4都市	4都市	4都市	4都市	4都市
		大学におけるIBスコアを活用した入試の促進（国内・海外におけるIB入試状況調査／入試概要の取りまとめ）								
④ICTプラットフォームの構築・運営業務	Air Campus®上でのPYP、MYP、DP、進路・IB入試、管理職、教員養成、行政（自治体・教育委員会）に関する情報交換とディスカッションの促進									
	ACファシリテーターとの対面型の情報交換会の実施（年2回程度）									
	ACに参加しているコンソーシアム協力校・機関との協力体制の構築（教育実習の促進・授業見学のコーディネート）									
⑤シンポジウム等の開催業務	10/14 国際バカロレアの普及促進に係るシンポジウム	3月 シンポジウム （予定）	7-8月 シンポジウム	2-3月 シンポジウム	7-8月 シンポジウム	2-3月 シンポジウム	7-8月 シンポジウム	2-3月 シンポジウム	7-8月 シンポジウム	2-3月 シンポジウム
			想定されるテーマ（各プログラムにおける授業実践／IBスコアを活用した大学入試／自治体におけるIB導入の動き／IB修了生のキャリア　等）							

持続可能なＩＢ普及・促進体制の構築

①文部科学省IB教育推進コンソーシアム関係者協議会の運営

＜関係者協議会の役割＞

1．国内の国際バカロレア導入の状況及び関連する課題を把握するとともに、その現状・将来に係る解決策について検討を行い、文部科学省その他関係者に対し提案を行う。

2．コンソーシアムにおいて実施される取組の状況やその運営方針等を把握し、必要な改善策等について助言を行う。

＜2018年度＞
第1～3回関係者協議会の運営
IB普及・促進をめぐる諸課題の把握および論点整理
諸課題に関する検討分科会（ワーキング・グループ）の設置

＜2019年度＞
第4～7回関係者協議会の運営
＜2020年度＞
第8～11回関係者協議会の運営
＜2021年度＞
第12～15回関係者協議会の運営
＜2021年度＞
第16～19回関係者協議会の運営

＊四半期に一回程度で開催予定

②国際バカロレア教育の効果に関する調査研究業務

○ＩＢ普及アンケート調査（事務局調査）

IB教育の効果と普及への諸課題把握のために、様々なステークホルダーへのアンケート等の実施

【2018年度】ＡＣ会員を対象にしたＩＣＴプラットフォームの活用ならびにＩＢに関する意識調査の実施（方法：アンケート調査　12月～2月）

【2019年度】認定校・候補校・関心校ならびにIB導入に関心のある自治体を対象とした質問紙調査の実施（予定）

＊ＡＣファシリテーターにも上記の調査に協力要請（ＡＣ研究会活動）

○大学のＩＢ入試状況調査（事務局調査）

国内大学・海外主要大学のＩＢ入試実施状況の調査。
【各年度末に調査結果を公表】

○その他、IB普及・促進に寄与する研究の奨励

＊ＩＢに関する研究セミナーの実施（毎年10月予定）
－日本の教育とＩＢ教育の効果比較研究
－IB修了生のキャリアパス追跡調査 等
－IB学会ならびに国内のＩＢ研究者との連携のもとに上記を奨励していく

③国際バカロレア導入を検討する学校等への支援業務

○IB導入校・関心校・自治体へのヒアリング

＊IB導入に係る好事例の収集・情報をHP上で発信）

―各学校へのヒアリング実施（22校にて実施　2018年12月現在）

―IB導入・支援パッケージの提示（事務局案：別紙資料１を参照）

○IB理解促進の啓発活動の実施

＊各地方都市でのIB理解セミナーを開催（半期・４都市で実施）

沖縄・九州／中国／四国／近畿／中部／北陸／関東／東北・北海道

＊セミナー会場はコンソーシアム協力校に提供依頼

－例：宮城県教育委員会主催によるIB啓発イベントへの参画（11/4実施）

○大学におけるIBスコアを活用した入試の促進

＊各大学におけるIB関連入試概要の取りまとめ

＊入試調査（現状）に関しては別紙資料４を参照

④ICTプラットフォームの構築・運営業務

○Air Campus®上での情報共有フォーラムの運営

＊PYP、MYP、DP、進路・IB入試、管理職、教員養成、行政（自治体・教育委員会）に関する情報交換とディスカッションの促進

＊2018年10月より運用開始（詳細は次ページ参照）

○ACファシリテーターとの対面型の情報交換会の実施（年2回程度）

＊シンポジウムやIB理解セミナーに合わせて、対面型の情報交換会を全国各地で実施していく。（参加者同士のネットワークの促進）

○ACに参加しているコンソーシアム協力校・機関との協力体制の構築

＊教育実習の促進・授業見学のコーディネート

Air Campus®の運用状況 （2018年12月現在）

○個人会員の登録状況について

登録数:227名

○団体会員の登録状況について

登録数:13団体(内訳:学校－9　大学－2　教育委員会－2)

団体会員よりコンソーシアム協力校・機関を募集（任意：13団体）

＊こちらは日本語ＤＰ連絡協議会の活動継承

-IB普及・促進に係る施策やＩＢ調査研究への協力

-協力校・機関名をコンソーシアムＨＰに掲載（近日公開）

-協力校・機関を対象とした専用のＡＣ掲示板の活用

-コンソーシアム協力校・機関を対象としたメーリングリストの運用

○各掲示板での質問や情報共有事例（一部抜粋）

＊教科横断的な授業実践の見学相談（ＰＹＰ）

＊ＰＹＰ／ＭＹＰの学校新設に関する問い合わせ（ＰＹＰ）

＊科目ごとに単元例や参考文献や資料を集約するスレッドの提案（ＭＹＰ）

＊ＩＢと日本の学習指導要領との接点をどのように考えるか（ＭＹＰ）

＊ＤＰ最終試験の過去問の入手方法について・ＩＢに親和性のある教材推薦（ＤＰ）

＊各学校での開設されているIB科目の調査方法（ＤＰ）

＊取得したＤＰ資格の有効期限について（進路）

＊国際バカロレア入試の導入および入試広報について（進路）

＊掲示板上での情報開示の範囲について（管理職）

＊管理職経験者のケーススタディの共有（管理職）

＊新設するＩＢ教員養成大学への要望（教員養成）

＊ＩＢコース大学院生としての体験談（教員養成）

＊他の自治体でのＩＢ検討・導入状況について（行政）

⑤シンポジウム等の開催業務

○ＩＢ普及・促進に係るシンポジウムの実施（年2回）

2018年10月14日実施

「国際バカロレアに関する国内推進体制の整備事業シンポジウム2018」

（アンケートの集計に関しては別紙資料３を参照）

＜次回のシンポジウムについて（事務局案）＞

「ＩＢ教員養成・研修について考えるシンポジウム」（仮題）

＊実施時期は2019年3月末頃

＊ＩＢ教員養成をめぐる取組事例の紹介

（登壇：大学関係者、大学院生、学校関係者　等）

＊今後考えられるシンポジウムテーマ

―各ＩＢプログラムによる授業実践

―ＩＢスコアを活用した大学入試の事例共有

―自治体におけるＩＢ導入をめぐる諸課題共有

（地方創生と新たな学校づくり（ＩＢ校モデルの紹介）

―ＩＢ修了生のキャリアパス紹介（産学連携でのグローバル人材）

―ＩＢ教員養成の取り組み（大学・学校・自治体レベルでの好事例）

―ＳＳＨ・ＳＧＨ・ＳＧＵとＩＢ教育の連携